平成 17 年度事業計画

【組織体制】

理事長　竹本加良子
副理事長　木下元祐
理事　井上和治
大橋千尋
向當和弘
鈴間裕樹
監事　上坂紀夫
斉藤嘉造

【事業】

1．ライフスタイル研究事業

- 調査研究事業【井上】　襖の下張り展（7 月 1 日～7 月 31 日）会場は公会堂記念館、武生市との共催事業。
- ﾃﾞｼﾞﾀﾙｱｰｶｲﾌﾞ事業【井上】　ｺﾐｭﾆﾃｨ･ｻｲﾄ事業との連携を図る。福井県･武生市などからの委託事業。武生市市史編纂事業での協働。
- 講演会事業【井上】
- 講師派遣事業【井上】

2．まちづくり事業

- ラピュタ工房事業【竹本】　マップ作成、チラシ作成、文書作成、印刷　大型プロッター出力、データ入力、スキャナー入力、他各種サービスの提供
- ｺﾐｭﾆﾃｨｻｲﾄ事業【木下】　本年度、大きく比重をかけて運営していく重要な事業の一つと捉え、活動していく。自足可能なまちづくりを意識した利用を行う。（キーワード：問題解決・武生および地域固有の情報・小さな成功例）。ｺﾐｭﾆﾃｨ･ｻｲﾄを維持するためには固定費（サーバー維持費・回線使用料・人件費）がかかるため、収入 200 万円を運用初年度の第一目標とする。初年度のサイト利用者にｺﾐｭﾆﾃｨ･ｻｲﾄを有効に活用してもらい、成功例をつくる。ストリーミング放送なども視野に入れ、活動していく。福井高専の電子情報工学科学生などに協力してもらう。
- 情報発信事業【竹本】　ホームページ･メルマガ･通信などの発行。ｺﾐｭﾆ

ﾃｨ･ｻｲﾄ事業との連携を図る。

- まちづくり支援事業【竹本】　武生市家具建具展示会、地元商店街との連携

3．生活文化事業

- ギャラリー･講座事業【竹本】　ギャラリー利用の推進を図る。ラピュタ工房の閉鎖に伴い、本年度より会場をラピュタだけでギャラリー･講座事業を行う。
- otona の文化祭事業【竹本】　予定：10 月 1 日～10 月 16 日までの 17 日間
  昨年の反省も踏まえ、今回は、土･日･祝に集中させ、質の高い企画を行う。無理はしない。
  (案)秋の薬草実用講座、きもの de 来武、
- きもの de 来武事業【大橋･市橋】　きもの de 来武（４月、10 月）
  ラピュタきもの倶楽部（月 1 回、計 12 回活動）
- 蔵の辻シネマカフェ事業【向当】　6 月から 9 月までの毎土曜日に、蔵の辻で映画界を行う。映画上映会を通して、地元住民が気軽に集まれ、話せる場を作る。また、「ラピュタ de 茶論」の開催も、検討する。

4．コミュニティ・ビジネス支援事業

- 武生地域ケア【井上】　武生地域ケアで借りている場所の有効活用。
  漢方薬茶房、健康講座などの開催。
- 地元商品販売事業【鈴間】　地元特産物の販売促進プロデュース。
  陶芸（辻風、地元作家）、家具、打ち刃物、和紙、農産物、加工品、自然などの新商品化。

5．その他

＜運営の課題＞

・ 理事会を定期的に開催する。（案）偶数月の第 1 木曜日　夜 7:00～9：00
  方針を決める。情報共有をし、コンセンサスを得る。運営協力。
・ スタッフ定期会議を開催する。（案）第 2・第 3 金曜日　夜 8：00～10：00
  報告による情報共有。問題解決を行う。
・ ボランティアスタッフの増員を図る。学生の力を使う。（福井高専、仁愛大学）
・ 企画実施時の目標達成のための運営をきちんと行う。また、評価も行う。
・ 地元住民の方に気軽に参加してもらい、話せる場･伝える場をつくっていく。
・ 各事業においては、赤字を出さない。
・